

「医療関係特約\*」「ガン関係特約」をご契約のお客様は

**メディカルリリーフ**をご利用いただけます。



\*「特定損傷特約」は対象外です。

### メディカルソムリエ

各専門分野を代表する医師(総合相談医)との面談や電話により、今後の治療方針、方法についての意見(セカンドオピニオン)をもらうことができます。また、総合相談医の判断により、優秀専門臨床医が紹介されます。

### メディカルほっとコール24

医師・看護師などの相談スタッフが、年中無休・24時間常勤態勢で、健康・医療・介護・育児・メンタルヘルスなどに関するご相談を電話でお受けいたします。ご本人はもちろん、ご家族に関する相談も承ります。

- ※「メディカルリリーフ」は、マニライフ生命の業務提携先であるティーベック株式会社が提供するサービスで、保険契約による保障とは異なります。このサービスは2017年4月現在のものであり、将来予告なく変更または中止される場合があります。
- ※このサービスはマニライフ生命のご契約が有効の期間中ご利用いただけます。
- ※サービス利用の結果についてマニライフ生命は責任を負いかねます。
- ※電話でのセカンドオピニオンでは、優秀専門臨床医の紹介はありません。
- ※ご利用に際してティーベック株式会社が取得した個人情報は、利用対象者確認の目的においてマニライフ生命に提供することがありますが、サービス提供以外の目的で使用されることはありません。また、ご本人の同意なく個人情報を第三者に提供することはありません。
- ※その他諸条件がありますのでサービスを受ける際にご確認ください。

ご契約のご検討・お申込みに際してはこの商品パンフレットのほか、「契約概要」「設計書」「重要事項のお知らせ(注意喚起情報)」「ご契約のしおり/約款」を必ずご確認ください。

弊社の担当者(生命保険募集人)は、お客様と弊社の保険契約締結の媒介を行う者で、保険契約締結の代理権はありません。したがって、保険契約は、お客様からの保険契約のお申込みに対して弊社が承諾したときに有効に成立します。

なお、お客様が生命保険募集人の権限等に関しまして、確認をご希望される際には、ご遠慮なく下記のマニライフ生命コールセンターまでご連絡ください。

## マニライフ生命保険株式会社

〒163-1430 東京都新宿区西新宿3-20-2  
東京オペラシティタワー30階

コールセンター **0120-063-730**

受付時間/月~金 9:00~17:00 (祝日・12/31~1/3を除く)

www.manulife.co.jp

2017年4月作成

● 担当は

MLJ(STDG)17030212(197851)

自由にえらべる、今と未来の処方せん



商品パンフレット

無配当利率感応型10年ごと生存給付保険  
無配当利率感応型10年ごと連生生存給付保険



マニライフ生命保険株式会社

2017年4月



カラダの不安に備えたい。  
だから、自分でつくる、自分への安心。



貯蓄



将来の生活に備える貯蓄

**主契約** フレックスファンド(積立金) P.13~P.14

お子様の教育資金、住宅の購入資金、老後の生活資金、さまざまなライフイベントを実現させていくには、資金づくりが重要です。「フレックスファンド」なら、少しずつ着実に資金を積み上げられます。

保障



病気・ケガ・介護に備える保障

**特約** 医療関係特約 P.3~P.6

病気やケガで入院したり、介護が必要になる可能性はどなたにもあります。治療費等の経済的負担からご自身とご家族を守るためにも、しっかり保障を確保しておくことをおすすめします。

- 総合医療保障特約
- 退院特約
- 生活習慣病入院特約
- 女性疾病入院特約
- 重度疾病保障特約
- 特定損傷特約
- 先進医療特約
- 介護保障特約



ガンに備える保障

**特約** ガン関係特約 P.7~P.8

日本人の2人に1人は一生のうち一度はガンにかかるといわれています。医療技術の進歩により治る確率も高くなっていますが、治療に専念するためにも、ガンに対する備えは重要です。

- 手術給付金付ガン入院特約
- ガン診断給付特約
- 抗ガン剤治療特約
- ガン死亡保障特約
- ターミナルケア特約

※主契約および特約は、それぞれ個別に契約することはできません。  
※本パンフレットでは、商品内容をイメージしていただきやすくするため、特約の名称は略称を用いています。  
特約の正式名称は「契約概要」等をご覧ください。



タバコを吸わない方には、  
割安\*な保険料が適用できます。  
(非喫煙者保険料率)

\*この保険の、非喫煙者保険料率が適用されない場合の特約保険料との比較  
※左記マークのある特約が対象です。  
※非喫煙者保険料率の適用には条件があります(過去1年以内に喫煙していないことなどの告知に加え、弊社所定の検査を実施します)。  
※保険期間、年齢、性別によっては、割安とならないことがあります。



特約 医療関係特約

# 病気・ケガ・介護に備える保障

## 医療関係特約のポイント

病気・ケガ・介護と心配な事柄にあわせて、必要な特約を自由に組み合わせることができます。

... 非喫煙者保険料率を適用できる特約

入院給付金日額**10,000円**の場合

特約名	こんなときにお支払いします	給付金	受取額	支払事由	支払限度
<b>総合医療保障特約</b> 保険期間 終身または 5年・10年・15年・20年 (更新限度90歳)	<b>病気やケガで入院したとき</b>	疾病入院給付金	<b>1日につき10,000円</b> (日帰り入院から)	疾病により、1日*以上の入院をしたとき	入院1回につき30日・60日・120日 (契約時に選択) 通算1,000日 ※「疾病入院給付金」と「災害入院給付金」のお支払いが重複する場合、重複する入院日数については疾病入院給付金をお支払いしません。
		災害入院給付金		不慮の事故により、その日から180日以内に1日*以上の入院をしたとき	
<b>手術</b> を受けたとき	<b>手術</b> を受けたとき	手術給付金 A	<b>1回につき10万円</b> (入院給付金日額の10倍)	疾病または不慮の事故により、所定の手術を受けたとき	なし
		手術給付金 B			
<b>退院特約</b> 保険期間 終身または 5年・10年・15年・20年 (更新限度90歳)	<b>所定の集中治療を受けたとき</b>	集中治療給付金	<b>10万円</b> (入院給付金日額の10倍)	入院中に次の集中治療室管理を受けたとき ●公的医療保険制度における医科診療報酬点数表または歯科診療報酬点数表に次の算定対象として列挙されている集中治療室管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・救命救急入院料</li> <li>・特定集中治療室管理料</li> <li>・小児特定集中治療室管理料</li> <li>・新生児特定集中治療室管理料</li> <li>・総合周産期特定集中治療室管理料</li> </ul>	入院1回につき1回
	<b>5日以上入院後退院したとき</b>	基本退院給付金	<b>5万円</b> (主特約の入院給付金日額の5倍)	主特約の入院給付金が支払われる5日以上入院をした後、生存して退院したとき	通算200回(基本退院給付金および割増退院給付金の支払回数を合算)
<b>30日以上入院後退院したとき</b>	割増退院給付金	<b>5万円</b> (主特約の入院給付金日額の5倍)	主特約の入院給付金が支払われる30日以上入院をした後、生存して退院したとき		

病気やケガによる入院・手術などの保障

退院時に受け取れる給付

※退院特約は「総合医療保障特約」を主特約として、あわせて付加していただけます。

\* 入院日数が1日とは、入院日と退院日が同一の日である場合のことです。支払事由の対象と入院基本料の支払いの有無などを参考に判断します。

生活習慣病入院給付金日額**10,000円**／  
女性疾病入院給付金日額**10,000円**の場合

生活習慣病や  
女性特有の病気による入院の保障

特約名	こんなときにお支払いします	給付金	受取額	支払事由	支払限度
<b>生活習慣病入院特約</b> <small>保険期間</small> 終身または5年・10年・15年・20年(更新限度90歳)	所定の <b>生活習慣病</b> で入院したとき 【例】糖尿病・高血圧性疾患・ガンなど	生活習慣病入院給付金	1日につき <b>10,000円</b> (日帰り入院から)	生活習慣病により、1日*以上入院したとき	入院1回につき30日・60日・120日 (契約時に選択) 通算1,000日
<b>女性疾病入院特約</b> <small>保険期間</small> 終身または5年・10年・15年・20年(更新限度90歳)	所定の <b>女性特定疾病</b> で入院したとき 【例】乳ガン・子宮ガン・子宮平滑筋腫など	女性疾病入院給付金	1日につき <b>10,000円</b> (日帰り入院から)	女性特定疾病により、1日*以上入院したとき	

\* 入院日数が1日とは、入院日と退院日が同一の日である場合のことです。支払事由の対象と入院基本料の支払いの有無などを参考に判断します。

重度疾病保険金額**100万円**／  
特定損傷給付金額**10万円**の場合

重大な病気にかかった場合や  
不慮の事故による骨折などのケガの保障

特約名	こんなときにお支払いします	保険金・給付金	受取額	支払事由	支払限度
<b>重度疾病保障特約</b> <small>保険期間</small> 5年・10年・15年・20年(更新限度70歳)	所定の <b>重度疾病など</b> で所定の状態になったとき	重度疾病保険金	<b>100万円</b>	参照 重度疾病保障特約の支払事由については、P.10をご覧ください。	1回
<b>特定損傷特約</b> <small>保険期間</small> 5年・10年・15年・20年(更新限度70歳)	不慮の事故による <b>骨折など</b> のとき	特定損傷給付金	<b>10万円</b>	不慮の事故による特定損傷(骨折・関節脱臼・腱の断裂)に対する治療を、事故の日を含めて180日以内に受けたとき	通算10回



重度疾病保険金をお支払いした場合、重度疾病保障特約は消滅します。

健康保険が適用されない  
先進医療の技術料を保障

特約名	こんなときにお支払いします	給付金	受取額	支払事由	支払限度
<b>先進医療特約</b> <small>保険期間</small> 5年・10年(更新限度90歳)	所定の <b>先進医療</b> を受けたとき	先進医療給付金	<b>先進医療にかかる技術料相当額</b>	疾病または不慮の事故により先進医療による療養を受けたとき 参照 先進医療については、P.9をご覧ください。	通算2,000万円
		先進医療見舞給付金	<b>5万円</b>		療養1回につき1回

介護一時金額**300万円**の場合

公的介護保険と連動して要介護状態を保障

特約名	こんなときにお支払いします	一時金	受取額	支払事由	支払限度
<b>介護保障特約</b> <small>保険期間</small> 終身または5年・10年・15年・20年(更新限度80歳)	所定の <b>要介護状態</b> に該当したとき	介護一時金	<b>300万円</b>	疾病または傷害を原因として、公的介護保険制度による要介護認定を受け、 <b>要介護2以上</b> に該当していると認定され、その要介護認定の効力が生じたとき 参照 公的介護保険の要介護認定については、P.11をご覧ください。	1回



● 介護一時金をお支払いした場合、介護保障特約は消滅します。  
● 介護保障特約は、契約年齢41歳以上75歳以下の方がご契約いただけます。



特約  
ガン関係特約

# ガンに備える保障

## ガン関係特約の ポイント

診断から入院、治療とガンに備えたトータルな保障を確保  
することができます。

... 非喫煙者保険料率を適用できる特約

### ガン入院給付金日額10,000円の場合

特約名	こんなときにお支払いします	給付金	受取額	支払事由	支払限度
<b>ガンによる 入院・手術の 保障</b>  <b>手術給付金付 ガン入院特約</b>  <b>保険期間</b> 終身または5年・10年・ 15年・20年(更新限度80歳)	<b>ガンで入院</b> したとき	ガン 入院給付金	1日につき <b>10,000円</b> (日帰り入院から)	ガン責任開始日以後に、ガンにより入院したとき <b>参照</b> ガン責任開始日については、P.12をご覧ください。	なし
	ガン治療のために <b>手術・放射線治療</b> などを 受けたとき	ガン 手術給付金	1回につき <b>20万円</b> (ガン入院給付金日額の20倍)	ガン責任開始日以後に、ガンの治療を目的として所定の手術を受けたとき	



ガン手術給付金が支払われることとなった直前の手術から60日以内は、手術の種類によって、ガン手術給付金をお支払いできないことがあります。

### ガン診断給付金額100万円の場合

特約名	こんなときにお支払いします	給付金	受取額	支払事由	支払限度
<b>ガンと診断 された場合の 保障</b>  <b>ガン診断給付特約</b>  <b>保険期間</b> 終身または5年・10年・ 15年・20年(更新限度80歳)	<b>初めて悪性新生物と 診断</b> されたとき	悪性新生物 診断給付金	<b>100万円</b>	ガン責任開始日以後に、初めて悪性新生物と医師によって診断確定されたとき	1回
	<b>2年経過以後に再発や 転移</b> などで入院したとき		<b>50万円</b> (ガン診断給付金額の50%)	上記の「初めて悪性新生物と診断確定された日」または「悪性新生物診断給付金の支払われることになった最終の入院開始日」から2年を経過した日の翌日以後に、診断確定された悪性新生物の治療を目的として入院したとき	なし
	<b>上皮内新生物と 診断</b> されたとき	上皮内新生物 診断給付金	<b>50万円</b> (ガン診断給付金額の50%)	ガン責任開始日以後に、初めて上皮内新生物と医師によって診断確定されたとき <b>参照</b> 上皮内新生物については、P.12をご覧ください。	1回

※ガン診断給付特約は「手術給付金付ガン入院特約」とあわせて付加していただけます。

### 抗ガン剤治療給付金額10万円の場合

特約名	こんなときにお支払いします	給付金	受取額	支払事由	支払限度
<b>抗ガン剤治療 の保障</b>  <b>抗ガン剤治療特約</b>  <b>保険期間</b> 終身または5年・10年・ 15年・20年(更新限度80歳)	<b>抗ガン剤治療・ ホルモン剤治療</b> を 受けたとき	抗ガン剤 治療給付金	1か月につき <b>10万円</b>	次の抗ガン剤治療を受けたとき ①ガン責任開始日以後に診断確定されたガンの治療を直接の目的とする抗ガン剤治療であること ②公的医療保険制度における医科診療報酬点数表または歯科診療報酬点数表により抗ガン剤にかかる薬剤料または処方せん料が算定されること	通算60回

### ガン死亡・高度障害保険金額100万円の場合

特約名	こんなときにお支払いします	保険金	受取額	支払事由
<b>ガンによる 死亡などの 保障</b>  <b>ガン死亡保障特約</b>  <b>保険期間</b> 終身または5年・10年・ 15年・20年(更新限度80歳)	<b>ガンで 死亡・高度障害状態</b> になったとき	ガン死亡 保険金/ ガン高度障害 保険金	<b>100万円</b>	ガン責任開始日以後に、ガンを直接の原因として死亡または高度障害状態に該当されたとき
	<b>ターミナルケア特約</b>	<b>ガンで余命6か月以内 と判断</b> されたとき	ターミナル ケア保険金	<b>ガン死亡保険金額のうち 被保険者が指定した金額</b>

※ターミナルケア特約は「ガン死亡保障特約」とあわせて付加していただけます。



**P.4より 「総合医療保障特約」の手術保障**

受けた手術の種類によっては、A・B両方の手術給付金を支払います。

手術給付金Aのみの支払対象

- 【例】胸腔ドレナージ
- 重粒子線治療
- 陽子線治療
- ※一部を除く

A・B両方の支払対象

- 【例】冠動脈バイパス術
- 放射線治療 (50グレイ\*以上の照射)
- 胃切除術

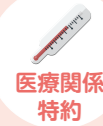
手術給付金Bのみの支払対象

- 【例】アデノイド切除術
- ものもらい(麦粒腫)切開術
- 扁桃腺摘出術

\*「グレイ」とは放射線のエネルギー量をあらわす単位です。50グレイ未満の放射線治療は「手術給付金B」のみを支払います。

- ※同時に2つ以上の手術を受けたときは、手術を1回受けたものとみなします。
- ※手術給付金AおよびBが支払われることとなった直前の手術から60日以内は、手術の種類によって、手術給付金AおよびBを支払いません。

- ※手術給付金Aの対象となる手術は変更されることがあります。
- ※手術給付金Bの対象となる手術は、公的医療保険制度における医療診療報酬点数表の改定などにより、変更されることがあります。



**P.6より 先進医療**

先進医療とは、厚生労働大臣が定めた高度な医療技術を用いた療養のことをいいます。「先進医療特約」では、受療時に先進医療の対象となっていた医療技術が給付金の支払対象となります。

※先進医療の種類や医療機関の最新情報は、厚生労働省のホームページをご覧ください。なお、治療方法や症例、医療機関によっては、先進医療による療養に該当しない場合があります。治療を受ける前に必ず主治医に確認してください。



**先進医療の平均費用の例**

先進医療は、高い治療効果が期待できる一方で、その技術料に公的医療保険が適用されないため、患者にとって重い負担となることがあります。

**費用の例**

- 重粒子線治療 3,093,057円
- 陽子線治療 2,760,022円

出典：厚生労働省「第49回先進医療会議(平成29年1月)資料」

**先進医療ダイレクト支払い**

「先進医療特約」では、先進医療にかかる技術料相当額を、マニュアル生命から医療機関に直接お支払いするサービスが利用できます。そのため、一時的な費用負担などを心配することなく、治療に専念できます。

- ※「先進医療ダイレクト支払い」のご利用には事前のお手続きが必要となります。
- ※医療機関からの同意が得られなかった場合などには、このサービスをご利用いただけません。



**P.6より 重度疾病保障**

「重度疾病保障特約」では、次のようなときに重度疾病保険金を支払います。

次のような状態になったとき

ガン	ガン責任開始日以後に、ガン責任開始日前を含めて初めてガンに罹患したと医師によって診断確定されたとき
急性心筋梗塞	この特約の責任開始期以後の疾病を原因として急性心筋梗塞を発病し、その急性心筋梗塞により初めて医師の診療を受けた日から60日以上、労働の制限を必要とする状態(軽い家事などの軽労働や事務などの座業はできるが、それ以上の活動では制限を必要とする状態)が継続したと医師によって診断されたとき
脳卒中	この特約の責任開始期以後の疾病を原因として脳卒中を発病し、その脳卒中により初めて医師の診療を受けた日から60日以上、言語障害、運動失調、麻痺などの他覚的な神経学的後遺症が継続したと医師によって診断されたとき

初診日がこの特約の責任開始期以後の疾病を原因として、次のいずれかの状態に該当したとき

重度の糖尿病	糖尿病に該当したと医師によって診断され、糖尿病が一定の病状に至ったと認められる次のいずれかの状態に該当したとき (1)増殖性糖尿病網膜症に該当したと診断されたとき (2)下肢に壊疽が生じ、その治療を目的として1足の1足指以上の切断術を受けたとき
慢性腎不全	この特約の責任開始期前を含めて初めて慢性腎不全に罹患したと医師によって診断され、その治療を目的として永続的に行なう人工透析療法を開始したとき
肝硬変	所定の診断基準にもとづき、この特約の責任開始期前を含めて初めて肝硬変に罹患したと医師によって診断されたとき
慢性肺炎	所定の診断基準にもとづき、この特約の責任開始期前を含めて初めて慢性肺炎に罹患したと医師によって診断されたとき

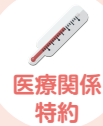
以下の移植術を受けたとき

移植術	この特約の責任開始期以後に発病した疾病により、所定の移植術を受けたとき
-----	-------------------------------------



ご注意

- 上皮内ガン、および皮膚の悪性黒色腫以外の皮膚ガンは支払対象となりません。
- 「ガン責任開始日」とは、この特約の責任開始期(告知もしくは第1回保険料相当額の領収日のいずれか遅い時)の属する日からその日を含めて91日目をいいます。
- ガン責任開始日の前日以前にガンに罹患したと診断確定していた場合、ガンに関する重度疾病保険金は支払いません。



P.6より 公的介護保険の要介護認定

「介護保障特約」は、公的介護保険制度の要介護2以上に認定された場合に介護一時金をお支払いします。

要介護度別の身体状態の目安

要介護度	身体の状態(例)
要介護	5 最重度の介護を必要とする状態 食事や排泄がひとりではできないなど、日常生活を遂行する能力は著しく低下している。 歩行や両足での立位保持はほとんどできない。 意思の伝達がほとんどできない場合が多い。
	4 重度の介護を必要とする状態 食事にとどき介助が必要で、排泄、入浴、衣服の着脱には全面的な介助が必要。 立ち上がりや両足での立位保持がひとりではほとんどできない。 多くの問題行動や全般的な理解の低下がみられることがある。
	3 中等度の介護を必要とする状態 食事や排泄に一部介助が必要。 立ち上がりや片足での立位保持などがひとりではできない。 入浴や衣服の着脱などに全面的な介助が必要。 いくつかの問題行動や理解の低下がみられることがある。
	2 軽度の介護を必要とする状態 食事や排泄に何らかの介助を必要とすることがある。 立ち上がりや片足での立位保持、歩行などに何らかの支えが必要。 衣服の着脱は何とかできる。 物忘れや直前の行動の理解の一部に低下がみられることがある。
要支援	1 生活の一部について部分的に介護を必要とする状態 食事や排泄などはほとんどひとりではできるが、ときどき介助が必要な場合がある。 立ち上がりや歩行などに不安定さがみられることが多い。 問題行動や理解の低下がみられることがある。 この状態に該当する人のうち、適切な介護予防サービスの利用により、状態の維持や、改善が見込まれる人については要支援2と認定される。
	2 要介護状態とは認められないが、社会的支援を必要とする状態 食事や排泄などはほとんどひとりではできるが、立ち上がりや片足での立位保持などの動作に何らかの支えを必要とすることがある。 入浴や掃除など、日常生活の一部に見守りや手助けが必要な場合がある。
	1 要介護状態とは認められないが、社会的支援を必要とする状態

出典：生命保険文化センター「介護保障ガイド」2016年10月改訂

※上記はあくまでも目安であり、実際の要介護・要支援認定の基準とは異なることでもありますのでご注意ください。



P.8より ガン責任開始日

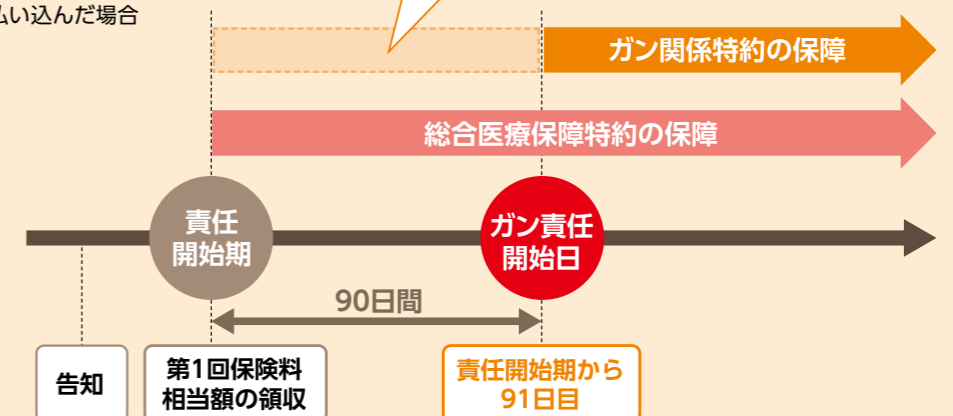
ガン責任開始日とは、各特約の責任開始期(告知もしくは第1回保険料相当額の領収日のいずれか遅い時)の属する日からその日を含めて91日目をいいます。

※ガン責任開始日の前日以前にガンに罹患したと診断確定されていた場合は、ガン関係特約の給付金・保険金は支払いません。

責任開始期・ガン責任開始日の例

「総合医療保障特約」と「ガン関係特約」を同時に申し込まれ、第1回目の保険料を同時に払い込んだ場合

ガン責任開始日より前に診断確定されたガンは、保障しません。



P.8より 上皮内新生物(上皮内ガン)

ガン関係特約は、上皮内新生物を一般の悪性新生物と同様に保障します。

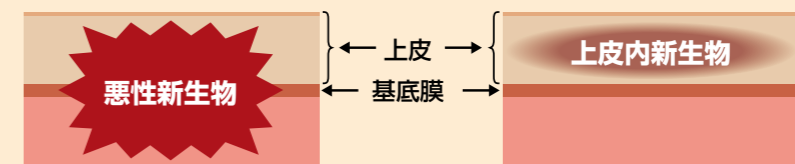
※「ガン診断給付特約」は、上皮内新生物と悪性新生物とでは保障内容が異なります。

※医療関係特約の「重度疾病保障特約」は、上皮内新生物を保障しません。

「悪性新生物」と「上皮内新生物」の違い

〈悪性新生物〉  
基底膜を超え  
浸潤した状態のガン

〈上皮内新生物〉  
基底膜を超えず  
上皮内にとどまっているガン



# 主契約の保障内容、その他の特約・お取り扱い

## 主契約の保障内容

主契約：無配当利率感応型10年ごと生存給付保険 無配当利率感応型10年ごと連生生存給付保険

この保険は、他の保険と区分経理された資産の平均利回りにもとづいて積立金に適用する予定利率を毎月更改する仕組みの保険です。

「無配当利率感応型10年ごと連生生存給付保険」では、夫婦それぞれを被保険者として保障します。

### ■ 無配当利率感応型10年ごと生存給付保険

給付金	支払事由	受取額
生存給付金	10年ごとの年単位の契約当日の満了時に生存しているとき	満了時の積立金相当額
死亡・高度障害給付金	死亡または高度障害状態に該当したとき	該当した日の積立金相当額
災害死亡給付金	災害で180日以内に死亡した、または感染症により死亡したとき	死亡した日の積立金の1.1倍相当額

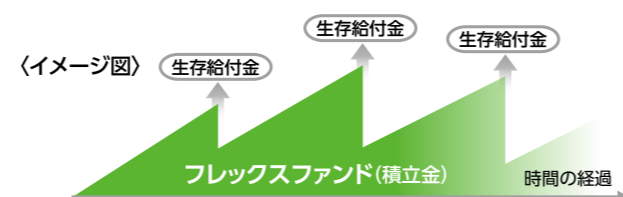
### ■ 無配当利率感応型10年ごと連生生存給付保険

給付金	支払事由	受取額
生存給付金	いずれか一方の被保険者が10年ごとの年単位の契約当日の満了時に生存しているとき	満了時の積立金相当額
死亡・高度障害給付金	一方の被保険者が死亡または高度障害状態に該当したとき	該当した日の積立金相当額に0.5を乗じて得た額
	他方の被保険者が死亡または高度障害状態に該当したとき	該当した日の積立金相当額
災害死亡給付金	一方の被保険者が災害で180日以内に死亡した、または感染症により死亡したとき	死亡した日の積立金の1.1倍相当額に0.5を乗じて得た額
	他方の被保険者が災害で180日以内に死亡した、または感染症により死亡したとき	死亡した日の積立金の1.1倍相当額

## フレックスファンド

- ご契約日から10年ごとの契約当日に、フレックスファンド(積立金)の全部または一部を生存給付金としてお受け取りいただけます。

※上記のほか、ご契約者様のお申し出により、積立金を引き出すことも可能です。



- フレックスファンド(積立金)の予定利率は市場金利等に連動して毎月変動します。また、予定利率には最低保証予定利率が設定されています。

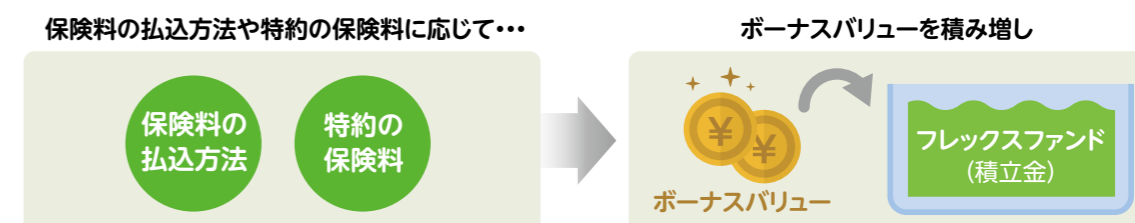
※積立金は、予定利率から災害死亡保障に備えるための費用として0.003%および保険契約の維持に必要な費用として予定利率に応じて0.197%~1.15%を差し引いた率を用いて計算します。

- 払い込まれた保険料はフレックスファンド(積立金)に積み立てられ、月々の契約当日に特約保険料に充当されます。

定期的なお払込み  
(定期払込保険料)  
月払・半年払・年払

随時のお払込み  
(一時投入保険料)  
ボーナスなど余裕資金をいつでも

- お取引引きの内容によって、フレックスファンド(積立金)に「ボーナスバリュー」が毎年積み増しされます。ボーナスバリューは1契約すべての特約を合算して計算するため、ご家族でまとめるほどお得です。



※ボーナスバリューによるフレックスファンド(積立金)の積み増しには所定の条件があります。

## 指定代理請求特約

被保険者が受取人となる保険金などについて、被保険者自身が請求できない所定の事情がある場合、受取人に代わり、あらかじめご指定いただいた指定代理請求人が保険金などを請求できる特約です。

※ご契約者が法人の場合、この特約は付加できません。

## 保険料の払込免除

- 主契約：保険料(定期払込保険料)の払込免除はありません。
- 特約：責任開始期以後の保険料払込期間中に、被保険者が次に該当した場合、以降の保険料の払い込みが免除されます。
  - ・不慮の事故による傷害を直接の原因として、その事故の日から180日以内に身体障害の状態に該当したとき

## 特約の更新

- 特約は、所定の取扱範囲で自動的に更新\*されます。更新の時期が近づきましたら、更新のご案内を送付します。  
\*特約の保険期間が終身の場合を除きます。
- 自動更新後の特約保険料は、その時点の被保険者の保険年齢および保険料率で計算します。なお、特約条項は、更新時点のものが適用されます。
- 特約保険料が定期払込保険料を上回り、フレックスファンド(積立金)の残高が不足する場合、保障を継続するために、定期払込保険料の変更の申込が必要になることがあります。

## 解約返戻金

- 主契約：解約返戻金額は、解約時のフレックスファンドの積立金額です。
- 特約：特約を解約された場合、解約返戻金はありません。

## フレックスレポート

毎年、フレックスレポート(年次報告書)をお届けします。フレックスレポートでは、以下の内容をご確認できます。

- ・ボーナスバリュー額
- ・フレックスファンドの積立金残高
- ・フレックスファンドの適用予定利率 など